

テッド・ローゼンタール・トリオ×岡フィル

2019
6/14 [金]

19:00開演
(18:15開場)

指揮：山本 祐ノ介
独奏：テッド・ローゼンタール・トリオ テッド・ローゼンタール(ピアノ) 植田典子(ベース)
クインシー・デビス(ドラム)

管弦楽：岡山フィルハーモニック管弦楽団

サマータイム/ジョージ・ガーシュイン
Fascinatin' Rhythm/ジョージ・ガーシュイン
ラブソディ・イン・ブルー/ジョージ・ガーシュイン

チケット発売日：友の会/3月17日(日) 一般/3月24日(日)

料金：全席指定3,000円

※未就学児童の入場はお断りいたします。また、小学生以上の場合は入場券が必要です。

※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。

※「岡山シンフォニーホール・岡山フィルハーモニック管弦楽団友の会」会員は10%割引。

※「岡山音協」会員は10%割引。お求めは岡山音協へ。

岡山シンフォニーホール

ニューヨークが奏でる 宵のJazz

Jazz Sounds of New York



主催：(公財)岡山シンフォニーホール

共催：岡山市、OHK岡山放送、岡山県音楽文化協会

特別協賛：  東光電気工業株式会社

Jazz Sounds of New York

テッド・ローゼンタール・トリオ×岡フィル



Ted Rosenthal テッド・ローゼンタール

1959年ニューヨーク生まれ。12歳からピアノを始めトニー・アレシに師事する。高校時代にはレニー・トリスターノやジャッキー・バイアードから手ほどきを受け、その後NYCでジャズライブ活動を行う一方で、マンハッタン音楽院でクラシカル・ピアノを学んでいる。1998年にNYCで開催された第2回国際セロニアス・モンク・ピアノ・コンテストで優勝し脚光をあびた。今回の

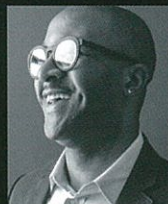
来日は2006年以来通算12回目となり、2009年に結成された現在のトリオとなつてからは9回目の来日となる。これまでにゲストアーティストとして共演したオーケストラには、デトロイトシンフォニー、ボストンポップス、ローチェスターシンフォニー、ピッツバーグシンフォニー等が挙げられる。現在、ジュリアード音楽院とマンハッタン音楽院でピアノとアンサンブルの教授をつとめるほか、クリニックも随時行っている。また、自作のジャズオペラ「Dear Erich」が2019年1月にニューヨークシティオペラによってプレミア公演された。



Noriko Ueda 植田典子

兵庫県宝塚市出身。4歳よりピアノ、16歳よりエレキベースを始める。その後ジャズに興味を持ち、アップライトベースに転向する。1995年渡米、奨学金を得てパークリー音楽院ジャズ作曲科に入学、同校を卒業後ニューヨークを拠点として演奏、作曲活動を行っている。2002年ビッグバンドの作曲でBMI主催のチャーリー・パーカーアワード最優秀賞を受賞。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ブルーノートNY他多くの

のベニューに出演、アメリカ国内外のツアーやフェスティバルにも頻繁に出演している。テッド・ローゼンタール・トリオに長年参加し、10回を超える日本ツアーを行うとともに多くのCDもリリースしている。



Quincy Davis クインシー・デイヴィス

1977年ミシガン州グランドラピズ生まれ。ミシガン州のインターローケン・アーツ・アカデミーでクラシックの打楽器奏法とドラムスを学んだ後、1995年ウェスタン・ミシガン大学に入学し、ビリー・ハートにジャズドラミングを学び、各地の学生ジャズ祭に出演して多くの賞を受賞する。

2000年にニューヨークに進出し、ベニー・グリーン・トリオに1年、トム・ハレル・クインテットにも4年在籍した。

2010年カナダのマニトバ大学、2017年よりジャズの名門、北テキサス大学で助教授として教鞭をとる一方、演奏家としても活動を続けている。



Yunosuke Yamamoto 山本祐ノ介

両親ともに作曲家の家庭に生まれ、早くからピアノ作曲を学ぶ。また指揮を父山本直純、初山和明、川本統脩の各氏に師事する一方、チェロを斎藤建寛、堀江泰の各氏に師事。東京藝術大学を経て同大学院を修了。ハイレーストリグクワルテットのチェロ奏者、東京交響楽団首席チェロ奏者などを経て、現在ソロチェリスト及び、指揮者として活躍中。指揮者としては、京都市響、東京

ニューフィル、新日本フィル、日本フィル、東京シテイ・フィル、京都フィル室内合奏団等に度々招かれるほか、各地のジュニアオーケストラや市民オーケストラを指揮、特にファミリー向けのコンサートでは企画、編曲、指揮、司会をこなし好評を得ている。2002年に行われた「日韓親善チェロコンサート」では、日韓300人のチェリストによる合奏を指揮、'11年開催の「チェロ・コングレス・イン・ジャパン(サントリーホール)」、「12年より毎年開催されている「チェロの日」等に於いてチェロアンサンブルを指揮し絶賛を博している。'11年に東京ニューフィルハーモニック管弦楽団常任指揮者に就任。また'14年には同オーケストラのメンバーからなる東京ニューフィル・ポップスオーケストラの設立に尽力、『寅さんクラシックコンサート』、『華麗なる映画音楽の世界』(民音主催)、『名画座コンサート』(朝日新聞社主催)などの企画で音楽界に新風を巻き起こしている。'13年にはミャンマー国立交響楽団を指揮し国立放送局制作の番組に出演。同時にミャンマー国内の盲学校やヤンゴンの日本人学校でのアウトリーチ活動を行う。以後定期的に招かれ、'14年11月には同オーケストラの国立劇場での公演を指揮し大好評を博す。'15年ミャンマー国立交響楽団音楽監督兼首席指揮者に就任、わずかの間にオーケストラのレベルを飛躍的に高め、高い評価を得ている。

クラシックコンサートはもとより、アニメーションや戯曲などを含む広い分野で作、編曲、指揮、及びチェロ演奏を手がけているが、そのすべての活動に於いて、人々の心に安らぎと勇気を与えるため、心あたたまる表情豊かな音楽を追究している。

Okayama Philharmonic Orchestra

岡山フィルハーモニック管弦楽団

1991年に開館した岡山シンフォニーホールは、国内外のアーティストから音響の素晴らしいホールとして高い評価を獲得。これを機に文化庁の補助を受けて、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成された岡山県初のプロオーケストラ、岡山フィルハーモニック管弦楽団を1992年に創設。以来、世界の著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、公演回数は年間100回を超えている。また、カラヤン率いるベルリンフィル黄金期にソロオーボエ奏者としてその名を世界に刻んだ、シェレンベルガーを2013年より岡フィル初の首席指揮者に招き、さらに2017年には日本オーケストラ連盟に加盟するとともに初の首席コンサートマスターを置き、また、各パートの首席奏者を全国公募のオーディションで採用するなど岡フィル強化に取り組んでいる。

今後も岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまちのオーケストラ」と皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。

- 平成12年第1回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。●平成15年第4回福武文化奨励賞受賞。●平成16年第1回マルセン文化賞受賞。●平成21年度岡山県教育関係功労者表彰。
- 平成24年山陽新聞奨励賞受賞。

プレイガイド

【岡山】	
岡山シンフォニーホールチケットセンター	086-234-2010
岡山県音楽文化協会	086-224-6066
ぎんざや	086-222-3244
山陽新聞社サービスセンター	086-803-8222
イオンモール岡山チケットセンター(土・日・祝のみ)	086-941-8818
【倉敷】	
インディスク	086-422-1457
【その他】	
チケットぴあ(139-070)	0570-02-9999
ローソンチケット(63801)	0570-084-006

岡山シンフォニーホールチケットWEB予約

<https://www.okayama-symphonyhall.or.jp/ticket-re/>

※右記QRコードからもご購入できます。

